１０月 校長だより

１０月５日（水）ナイストライ

コロナ禍で不安はありましたが、２年部職員の熱い思いが後押しとなり、３年ぶりにナイストライ（職場体験）を実施しました。２年生が４１か所のお店や幼稚園などで３日間の体験活動を行いました。どんな体験をしているのかと、スーパーやホームセンターに行ってみますと、緊張した表情で指示されたことに応えていました。初日から「いらっしゃいませ！」と明るく元気に言える生徒もおり、即戦力になりそうな雰囲気でした。わずか３日間の体験ではありますが、生徒にとって、働くとはどんなことかをうかがい知る貴重な経験となりました。

ご協力いただきましたお店、保育園、医療関係、農家、公民館など４１の職場の皆さま、本当にありがとうございました。

１０月７日（金）薬物乱用防止キャンペーン

早朝、ライオンズクラブ南熊本支部の皆さんが来校され、生徒一人一人に薬物乱用防止チラシを配布されました。新型コロナ感染防止のため中断していましたので３年ぶりの配布でした。薬物乱用は、たった１回の使用でも乱用です。県内でも大麻などで若者が検挙される事案が発生しているそうです。たった一度の好奇心で人生を終わらせることがないようにと願います。

１０月８日（土）校則・学用品検討委員会

生徒･保護者･学校評議員･本校職員が参会し、校則・学用品の検討会を行いました。

生徒代表として生徒会役員が参加しました。カッチン留めの許可やサブバックの防水加工など、子どもたちならではの要望がありました。

学用品や校則を決めるために学校が大事にしていた３つの視点があります。①経済格差などで生徒が寂しい思いや嫌な思いをしないようにというものです。何でも自由にすると、買える人と買えない人、持っている人と持っていない人がでてきます。これまでそのことでトラブルになったり、相談があったりしました。②生徒の安全な生活を守るためのものです。具体的には、危険な行為やゲームセンターや江津湖、湧水公園など遊ばない・行かないというものです。③職員の指導の不一致を防ぐためです。基準が不明確なものは、職員の指導にもブレが出てきます。兄弟での指導の違いなどで保護者や子どもたちの誤解や指導に対する不信感につながることがありました。

そして現在、ブラック校則が問題となってから、次の４点が挙げられるようになりました。①生まれ持った性質に対して許可が必要な規定をなくしていくこと。②男女の区別により性の多様性を尊重できない規定をなくしていくこと。③健康上の問題を生じさせる恐れのある規程を変更すること。④合理的な理由を説明できない規定や人によって恣意的に解釈されるようなあいまいな規定をなくすこと。

以上、７つの視点から校則や学用品の見直しを行っています。様々な生徒からの要望で、７つの視点をクリヤーしたものを新たな校則や学用品として改正しています。

１０月１１日（火）秋の実り

学校園で育てているサツマイモの収穫が始まりました。土が固くて苦戦しながらの収穫です。晴れた日に少しずつ収穫しています。合唱コンクールの折に、保護者の皆様に販売いたしました。沢山ご購入いただき感謝しております。

１０月１２日（水）高校説明会

県立高等学校の先生をお招きし、３年生と保護者を対象にした高校説明会を行いました。生徒たちは、高校の話に興味津々で先生方の話に聞き入っていました。あと３ヶ月後には入試、さらに３ヶ月後には高校生です。このような進路関連の行事が行われるたびに、受験ムードが濃くなっていきます。１４日には私立高校の先生方が来校されて第２回高校説明会を行いました。

１０月１６日（日）震災実働訓練

熊本市では、市内一斉に震災に備えた訓練を行いました。本校は日吉東小校区４町内の皆さんの避難所になっています。朝９時から、熊本市職員３人・校区自治会長他２１人・本校ＰＴＡ役員５人・職員６人が集まり実働訓練を行いました。

マンホールトイレの設置訓練

毎年、大規模災害実動訓練を行っています。昨年度までは、熊本地震が起こった４月に開催されていましたが、本年度から１０月になりました。この訓練が行われると、６年前のあの地震の日、学校に押し寄せる自家用車と地域住民の方々、鳴りやまぬ電話、赤ちゃんを抱きながら震えて体育館の入り口で座り込まれるお母さん、愛犬を抱きかかえ体育館に入れてもらえないかと懇願されるおばあさん・・あの夜の光景がはっきりと思い出されます。マンホールトイレを設置しながら、いつまでも使わない日が続くことを願いました。

１０月１７日（月）中体連駅伝選手激励会

中体連駅伝大会が２日後に開催されますので、出場する選手の激励会を朝から行いました。

上の写真は、生徒を代表して生徒会から選手に激励のことばを述べているところです。全校生徒にはオンラインで配信です。下の写真は激励会後に撮った選手の皆さんです。選手の皆さんは夏休みが始まってすぐから、毎朝黙々と練習してきました。大会まであと２日、ベストのコンディションで臨んでほしいです。

１０月１９日（水）中体連駅伝大会

フードパル周辺を駅伝コースとして、爽やかな秋晴れのもと、本年度最後の中体連大会が行われました。男女とも健闘しましたが、結果は残念ながら男女とも６位入賞ならず県大会に出場することはできませんでした。ちなみに、男子は７位、女子は３６位の成績でした。男子の方は、あと少しということで本当に惜しい思いを味わいました。その悔しさをぜひこれからの励みにしてほし

いです。県大会は逃しましたが、選手全員、一生懸命頑張る姿が見られて本当によかったと思い

１０月２０日（金）合唱コンクール・特技発表

３年ぶりに保護者をお招きして合唱コンクールを開催しました。コロナ感染がまだ心配なところがありましたので、歌わない学年を入れ替えながら合唱コンクールを行いました。また、今年は初の試みとして、特技をもった生徒たちの発表も行いました。

保護者の方も、入れ替え制としましたのでもう少し聴きたかった方には大変申し訳なく思います。特技発表の方は、ダンス・太鼓・バイオリン・エレクトーンがあり、どの特技も幼少期からやっているとのこと。凄い実力者揃いでした。

話は変わりますが、私の中学校時代にも合唱コンクールがありました。今から半世紀ほど前です。当時と比べると体育大会などの行事は様変わりしましたが、合唱コンクールだけはまったく姿を変えずに続いています。どこからも、改善してほしいという声は上がりません。どうしてだろうと疑問に感じ考えてみました。

文化的な面では、音楽に触れ親しむ、歌声を聞いて優しい気持ちになるなどの成果があります。また、コンクールですので、競い合う楽しさや勝った喜びがあります。そしてもう一つ大事なことは、楽譜や歌詞を覚える、感情を表現する、クラスで話し合う、声を調節してハーモニーをつくるなど、記憶力・理解力・表現力・コミュニケーション力・調整力・判断力等と多くの教育的意義があることがわかりました。時代は変わっても変わらない学校の大事なイベントだと思います。

１０月２５日（火）共通テスト

２５日・２６日の２日間、共通テストが実施されました。このテストを境に本格的な受験シーズンとなります。実際の入試は１月からですが、この共通テストの結果をもとに、生徒自身が受験校を決めていくことになります。高校合格するまで、３年生は精神的に辛い日々が続きます。体を壊さず、焦らず、挫けず、一日一日を大事にしてほしいと願います。

共通テストを受ける３年生

１０月２５日（火）調理実習

新型コロナの影響で、調理実習も３年ぶりのです。家庭科室ではエプロン姿の生徒たちが、鮭の切り身と格闘していました。今日の実習メニューはさけのムニエルだそうです。ぎこちない手つきが微笑ましい。フライパンから立ち上るバターの香りが廊下にあふれ、昼前の食欲を刺激します。